

赤ちゃん交流会（小学校 総合的な学習の時間）

1 単元名 「赤ちゃん和・話・輪！ みんながハッピー交流」（5年）

2 単元設定の理由

核家族化や少子化、地域のつながりの希薄化等、家族のあり方や地域の結びつきの変化とともに、子どもたちを取り巻く環境も変化している。人との関わり方がうまくいかない、周りの人や公共のものに寄せる気持ちが薄いという子どもたちの姿は少なくない。また、思春期にさしかかり、時に、一面的で独断的な見方や考え方をする傾向になりやすく、相手を批判したり、自分の価値判断に固執しがちになったりする面も見られる。

4月にクラス替えを行い、子どもたちは新たな人間関係を構築してきており、集団リレーなどの取組を通して、精神的にも成長し、集団としての高まりも出てきた。しかし、個々の子の様子を見ると、きつい言葉で相手をやり込めてしまう自分自身の姿を振り返ることができない子、相手の話をしっかり聞くことが苦手なために集団行動ができにくい子、相手の話はよく聞けるが自分の思いを伝えられない子等々、コミュニケーションの力をもっとつけていく必要がある子どもたちが多いと感じている。

自分たちより小さく、言葉のやりとりができない赤ちゃんに関わることは、自分から心を開いて、本気で向き合う必要感を生じさせる。自分では赤ちゃんにとってよいと思ってやってみても泣かれることもあり、相手に寄り添うこと、思いやることとはどういうことか真剣に考える機会を与えられる。また、赤ちゃんからは、否定的・批判的な言葉は返ってこないのも、伝えることが苦手な子どもたちも、安心して自分の考えや気持ちを伝えることができるだろう。さらに、赤ちゃんのお母さんお父さん方から話を聴くことで、自分も大事に育てられたことを実感し、家族への感謝の気持ちを持ち、命を大切にすることとはどういうことか考えることができるだろう。

赤ちゃんとお母さんやお父さんと関わる体験を通し、赤ちゃんの成長や命の尊さを実感しながら、相手を大切に思う気持ちを育んでほしい。また、自らの成長を振り返り、命の尊さ、親への感謝を実感し、自分や友だちのよさを再発見することを通して、よりよい人間関係づくりのために必要な資質を身につけてほしい。そして、相手に関心をもつ、相手のことを分かろうとしてよく見る、相手の気持ちを分かろうとして聴く等のコミュニケーションの力を、これからの生活に進んで生かしてほしいと願い、本単元を設定した。

3 単元目標

赤ちゃんとお母さんやお父さんの家族に関わることを通して、基本的なマナーや行動、聴き方、話し方を理解し、赤ちゃんとお母さんやお父さんの家族を思いやる聴き方、話し方、関わり方をしようとすることで人への思いやりや命の大切さに気付き、表現できるようにする。

4 単元の評価規準


	A 知識、技能	B 思考力、判断力、表現力	C 主体的に学習に取り組む態度		
評価基準	<p>①赤ちゃんや赤ちゃんの家族と関わる中で、疑問や課題をもったり、赤ちゃんのお母さん、お父さんに自分が知りたいことを質問したりする。</p> <p>②課題を解決するために考えたいろいろな方法の中から、自分にあったものを選び、積極的に関わる。</p> <p>③自分の活動を振り返り、交流への願いをふくらめます。</p>	<p>①赤ちゃんや赤ちゃんの家族との関わりを通して、気づいたことや感じたこと等を学習カードにまとめる。</p>	<p>①赤ちゃんたちと楽しい時間を過ごす上での、大切なマナーや行動を知り、心がけようとしている。</p> <p>②赤ちゃんの家族や友だちの話を聴き、自分の思いを伝えながら、赤ちゃんの家族との関わりを深めていこうとする。</p> <p>③関わり体験を振り返り、思いを伝え合う。</p>	<p>①赤ちゃんといれあう中で、命の尊さに気づく。</p> <p>②赤ちゃんやお母さん、お父さんとの関わりから、自分の成長や変化に気づく。</p>	<p>①赤ちゃんの家族、自分の家族、友だちとの関わりから、相手の思いを知り、尊敬の気持ちを抱く。</p>

5 指導と評価の計画

◇人権教育に関わる配慮点

小単元名	○学習活動 ・ 予想される児童の反応	評価	時間	備考
1 赤ちゃん と楽しい時 間を過ごす には、どうし たらいいだ ろう。	<p>赤ちゃんたちと楽しい時間を過ごすには、どうしたらいいだろう。</p> <p>○基本的なマナーやコミュニケーション、赤ちゃんに関わるために大切なことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションをふくらますには、相手に関心をもって「みる」「きく」「伝える」ことが大切。 ・聴き方→話し手に体を向けること、視線を届けること ・あいさつ・だっこの仕方・身支度 等 <p>○振り返りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんとお母さんに会ったら、ちゃんと自己紹介をして、赤ちゃんに優しく接したい。 ・赤ちゃんは「大切な命」。命の重さを考えて勉強したい。 ・「みる」「きく」「伝える」をして、抱っこ等をしたい。 ・ふざけないで、真剣に赤ちゃんを抱っこしたい。 	<p>◇相手を尊重した接し方について考えさせる。</p> <p>赤ちゃんたちと楽しい時間を過ごす上での、大切なマナーや行動を知り、心がけようとしている。 C-コ-① (行動・学習カード)</p>	1 ・ 2	<p>掲示物</p> <p>赤ちゃん人形</p> <p>学習カード</p>
2 赤ちゃん と赤ちゃん のお母さん 方と関わり う。	<p>「赤ちゃんと和・話・輪！ みんながハッピー交流をしよう」 赤ちゃんとの関わり体験①</p> <p>○事前学習の確認 ○赤ちゃんと対面</p>	<p>◇まずは、赤ちゃんのお母さん方から、赤ちゃんを大切</p>	3 ・ 4	<p>掲示物</p>

	<p>挨拶、自己紹介、赤ちゃんの親から話をきいた後、関わり体験をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん、かわいいなあ。 ・赤ちゃんて小さいなあ。 ・壊れちゃいそうでこわい。 <p>○関わり体験での振り返りを赤ちゃんのお母さん方に伝える。お母さん方にも子どもたちに気づいたことや感じたことを伝えていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても優しく接してくれてうれしかったです。 ・いつもぐずる時間だけど、ご機嫌でしたよ。 	<p>に思う気持ちや赤ちゃんのふだんの様子等を聴く。</p> <p>◇子どもたちのありのままの関わりを大切にし、見守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループを回り、子どもたちやお母さん方の気持ちを聴く。 <p>◇関わり方のよさを認め、ほめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>赤ちゃんや赤ちゃんの家族と関わる中で、疑問をもち、赤ちゃんのお母さん、お父さんに自分が知りたいことを質問し、関わっている。 A-①（行動・観察カード）</p> </div>		
<p>3 関わり体験を振り返り、次の体験への願いを持つ。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>赤ちゃんとお母さん方との関わり体験を振り返ろう。</p> </div> <p>○関わり体験①を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんはプニプニしていて、とてもかわいかった。 ・人形とは違って、暴れていて大変だった。 ・赤ちゃんのお母さんは、なぜ赤ちゃんが泣いているのか分かってすごい。 ・泣かれるとどうしたらいいか困った。 ・もっと抱っこしたかった。 ・緊張してちょっと困った。 <p>○次の交流でしたいこと、ききたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回は、自分の力で抱っこさせてもらいたい。 ・パートナーの赤ちゃんが何に興味があるのか知りたい。 ・自分が赤ちゃんの頃読んでもらった本を持って来たい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんやお母さん、お父さんについて、自分自身について、友だちについて、気づいたことや感じたことをまとめさせる。 <p>◇赤ちゃんとお母さん方の家族の立場を尊重した関わり方を考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一回目の交流よりも、自分から話しかけたり、あやしたりして関わる。 C-コ-②（言動・学習カード）</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・関わり方の一つとして、絵本はどうか提案する。 	<p>5 ・ 6</p>	<p>学習カード</p>
<p>4 赤ちゃんとお母さん方とも関わろう。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>みんながもっとハッピーな交流にしよう！ 赤ちゃんとの関わり体験②</p> </div> <p>○赤ちゃんやお母さんお父さんについて、もっと教えてほしいことを質問したり、お母さんお父さんの話を聴いたりする。</p> <p>○赤ちゃんの親から、赤ちゃん成長の様子や質問に対する答え等をきいた後、関わり体験をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カシャカシャ音がするのが好きなんだな。 ・出産の時、とっても大変だったんだな。 ・赤ちゃんの成長の記録をつけているんだ。大事に思っているんだな。 ・この前よりうまく抱っこできないなあ。 <p>○絵本の読み聞かせをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じっくり見てくれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループを回り、子どもたちやお母さん方の気持ちを聴く。 ・前回よりも関わり方がよくなっている様子を認め、ほめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>赤ちゃんや赤ちゃんの家族との関わりを通して、気づいたことや感じたこと等を学習カードにまとめている。 B-①（発言・学習カード）</p> </div>	<p>7 ・ 8</p>	<p>掲示物</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・本が好きで、読んであげると泣くのもおさまった。 ・本に興味がなく泣いていた。 	<p>赤ちゃんのぬくもり、お母さんお父さんの赤ちゃんへの関わり等から、命の重みを感じる。 C-自-① (発言・学習カード)</p> <p>お母さん、お父さんが、赤ちゃんの気持ちをよくくみ取っていることや赤ちゃんを大事に思っていること等、親の思いに気づく。 C-コ-② (言動・学習カード)</p>		
<p>5 振り返りをもとに、次はどんな関わりをしたいか考え、話し合う。</p>	<p>赤ちゃんとお母さん方との関わり体験を振り返ろう。</p> <p>○関わり体験②を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一回目よりも、赤ちゃんのを知ることができてうれしかった。 ・ぼくは、一回目の時は、緊張しすぎて固まっていたけど、二回目は自然に体が動いた。 ・「いないいないばあ」をしたら、赤ちゃんが笑ってくれてうれしかった。 ・赤ちゃんがぼくの指を握ってくれてうれしかった。 ・だっこしたら泣かれてしまった。お母さんが抱っこしたらすぐに泣き止んだ。ぼくも抱っこしたいんだけどなあ。 ・絵本に興味をもってくれたからまた読みたいなあ。 ・今度は、カシャカシャが好きなパートナーさんのために、おもちゃを作って一緒に遊びたいなあ。 	<p>・赤ちゃんやお母さん、お父さんについて、自分自身について、友だちについて、気づいたことや感じたことをまとめさせる。</p> <p>◇赤ちゃんとお母さんのお父さんの家族の立場を尊重した関わり方を考えさせる。</p> <p>赤ちゃんやお母さんのお父さんの家族との関わりを通して、気づいたことや感じたこと等を学習カードにまとめている。 B-① (発言・学習カード)</p>	9	学習カード
<p>6 最後の交流でどんなことをするか計画を立て、準備する。</p>	<p>最後の交流が、最高にハッピーな交流になるように準備しよう。</p> <p>○最後の交流ですることの準備をする。</p> <p>【あやす】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いないいないばあ、をしたら喜んだからもっとやってみたいなあ。 ・わらべうたも覚えよう。 <p>【絵本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しが多いのがいいって赤ちゃんのお母さんが言っていたから。 ・読み方も一回目より強調するところはして、赤ちゃんが興味をもって見られるようにしよう。 <p>【おもちゃ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音が鳴るのに興味を持っていたから、音が出るものを作ろう。 ・なめても安全なようにしよう。 ・私が赤ちゃんの時に、使ったお気に入りのおもちゃをもっていこう。 	<p>◇愛情をしぐさで伝えること、どういう言い方で伝えるか等、これまでの学習を振り返らせてながら活動するようにしていく。</p> <p>◇自分のパートナー赤ちゃんの様子をふり返り、赤ちゃんに寄り添って考えていけるよう声がけする。</p> <p>関わり体験を振り返り、一回目よりうまくいったことやを困ったこと等を伝えあっている。 C-コ-② (発言・学習カード)</p>	10 ・ 11	一回目 二回目の関わり体験の写真(掲示)

<p>7 赤ちゃんと赤ちゃんのお母さん方ともっともっと関わろう。</p>	<p>最後の交流を、最高にハッピーな交流にしよう！</p> <p>○赤ちゃんのお母さん方の話をきいた後、関わり体験をする。</p> <p>○自分が用意した絵本やおもちゃ等を見せながら関わる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の交流では、おむつ交換もできてよかった。 だっこしてミルクをあげたらおいしそうにミルクを飲んくれた。 お母さんや友だちにアドバイスしてもらったおかげで、うまく抱っこできるようになってうれしかった。 手遊び歌をしたら笑ってくれた！ 絵本をじっと見てくれた。 おもちゃに手を伸ばしてきたよ。 	<p>赤ちゃんとの関わり体験③</p> <ul style="list-style-type: none"> 各グループを回り、子どもたちやお母さん方の気持ちを聴く。 <p>◇これまでよりも関わり方のよくなった姿を認め、ほめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>赤ちゃんのために準備した活動をし、満足する。 A-2 (誦・学習カード)</p> </div>	<p>12 ・ 13</p>	
<p>8 活動を振り返ろう。</p>	<p>「みんながハッピー交流」をふり返りまとめよう。</p> <p>○関わり体験③を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> おもちゃと一緒に遊べてうれしかった。 二回目より、本を見てくれた。 〇〇ちゃんから寄ってきてくれてうれしかった。 自然と赤ちゃんに触っていた。 <p>○これまでの活動を振り返りながらお礼の手紙を書く。</p> <p>○これまでの授業で気づいたことや学んだことを中心に、まとめて発表しあう。</p>	<p>赤ちゃんやお母さん、お父さんについて、自分自身について、友だちについて、気づいたことや感じたことをまとめさせる。</p> <p>◇赤ちゃんと赤ちゃんの家族の立場を尊重した関わり方を振り返り、これからの生活に活かしていきたいことを考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>これまでの関わり体験を通して、赤ちゃんに関わる自分の変化に気づく。 C-自-② (紙・筆)</p> </div>	<p>14 ・ 15</p>	<p>これまでの関わり体験の写真</p> <p>・便箋</p>

6 赤ちゃん交流会までの大まかな流れ

①研究の方向決め（4月）
②県外研修（5・7月）先進地視察
③児童センターへのお願い（6月）
④児童センター職員との打ち合わせ（8月）日程調整、会場下見など
⑤子育て支援課への依頼（9月）資料
<p>⑥赤ちゃん募集（9月～10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ作り、配布（児童センター、保健センター、教育委員会生涯学習課など） 市広報への掲載依頼 児童センターにいらっしゃるお母さん方やサークルの皆さんへの呼びかけ
<p>⑦参加者名簿作成（10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別連絡 保険の加入（国内旅行総合保険・賠償責任） 託児の調査
⑧赤ちゃん交流会実施（10月～11月） ・児童センターでの活動 ・アンケートの依頼等

「赤ちゃん交流会（仮称）」授業における交流親子の募集について

〇〇小学校長

〇〇小学校では、人権教育の取組として、「赤ちゃん交流会」を行います。児童が、定期的・継続的な交流を通して、「見る・聴く・伝える」といったコミュニケーションの大切さや身近な人との関わりを見つめ直し、命の大切さや、思いやりの心などを学ぶことを目的としています。つきましては、この授業に参加していただける親子（赤ちゃんとその親）を募集します。

- 1 授 業 赤ちゃん交流会（仮称）
- 2 目 的 児童が赤ちゃんとその親とのふれあい・かかわり体験を通して「命の大切さ」「相手を思いやる心」などについて学び、「身近な人との関わり方を考える」ことを目的としています。
- 3 主 催 〇〇市立〇〇小学校
- 4 共 催 〇〇市子育て支援課
- 5 会 場 児童センター
- 6 実施期日 第1回交流会 令和3年10月12日（水）11：00～12：00
第2回交流会 令和3年10月26日（水）11：00～12：00
第3回交流会 令和3年11月17日（木）11：00～12：00
- 7 対象親子 募集10組
以下の条件を満たす親子を募集します。
 - ① 交流開始時点で生後4ヶ月～9ヶ月の赤ちゃん
 - ② 全3回とも参加可能であること（当日の急な体調変化による欠席は除く）
 - ③ 児童センターに来られること
- 8 募集締め切り 令和 年 月 日（ ） ※先着順
- 9 申込方法 指定の様式（添付チラシ裏面）にて、Faxまたは、小学校か児童センターに届けてください。

〇〇市立〇〇小学校 担当 TEL Fax

この授業の概要とねらい

この授業は、児童一人ひとりが赤ちゃんの表情に心を弾ませたり、手に触ったり、抱っこしたりといった赤ちゃんとのふれあいや、お父さんやお母さんから子育てについてお話等を聴きながら、「命の大切さ」「相手を思いやる心」「親への感謝の心」を学びます。



このふれあい体験活動で大切にしていることは、

- 赤ちゃんやお父さん、お母さんとの関わりの前に、児童が人と接する上でのマナーや相手の気持ちをくみ取ったり、自分の気持ちを伝えたりする「コミュニケーション」について学習します。
- 原則として、グループを固定し、定期的・継続的にふれあい・関わり活動を行います。関わり体験（実践）と振り返りを繰り返しながら、児童の心を内側から揺さぶり、単なるイベント的な活動では育むことにできない、人間関係づくりの大切な基礎を築こうとするものです。

お父さんお母さんにとって

児童と関わっていただくお父さんお母さんにとっては、赤ちゃんと一緒に懸命向き合う児童の姿を通じ、我が子の成長をイメージすることができます。また、他人から愛される様子を目にする事で、改めて我が子への愛情を実感し、毎日の育児生活への励みになるはずです。

ふれあい・かかわり体験活動 参加への条件

授業の効果を高めるために、次のような赤ちゃん・お父さん・お母さんをお待ちしています。

- ①まだ歩くことのできない赤ちゃんであること（ゆったりと関わるができるようにするためです）
- ②全3回参加可能予定であること（当日の急な体調変化による欠席は除きます）
- ③自力で会場に来られること

〈その他〉

- ・児童は、事前にコミュニケーションや身だしなみ、衛生や赤ちゃんの安全について学習した上でふれあい・かかわり体験に臨みます。
- ・会場は、児童センターの絨毯敷きの部屋を予定しています。
- ・実質的な赤ちゃんとのかかわりの時間は、約30分程度です。
- ・今後の活動に使用する目的で、ふれあい・かかわり体験の様子を撮影いたします。前もってご了承ください。
- ・交流活動に際して、学校負担で傷害保険に加入しておきます。
- ・託児室を用意します。（赤ちゃんの交流時間中、ご兄弟をお預かりします。）

※上記の他に、不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

〇〇小学校 [担当:] TEL Fax

赤ちゃん交流会参加申込書

参加者 <small>ふりがな</small> 氏名	参加保護者 お子さん (生年月日 令和 年 月 日)
連絡先	〒 電話 FAX 携帯 (当日の緊急連絡用)
撮影	※いずれかに○をしてください OK NO
託児所	※いずれかに○をしてください 利用しない 利用する (人数 年齢)